

令和5年度

自己評価報告書

学校法人 薬師の杜学園

山形美容専門学校

令和6年2月

令和5年度 自己評価

学校法人 薬師の杜学園
山形美容専門学校

・ 自己評価の項目：自己評価は、以下の9項目について実施します。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動・教育環境
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 学生の受け入れ募集
- (7) 財務
- (8) 法令等の遵守
- (9) 社会貢献・地域貢献

・ 評価項目に対する評価

評価は、4～1の4段階で表します

段階	4	3	2	1
評価	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切

評価項目1 教育理念・目標

教育理念

美容の道は、心の化粧(美しさは人を幸せにし、豊かな人生の営みとともにある)。

- 1 美容の道を歩む(業界で求められる)ために必要な知識と技術を身に付けた人間性豊かな人材の育成。
- 2 人とのつながりを大切にする人間性豊かな人材の育成。
- 3 すべての学生を一人ひとり大切にする教育の展開。

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	理念・目的・育成人材像は定められているか。	4
b	学校における職業教育の特色を明示しているか。	4
c	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	学則及び教育理念に明示している。 今年度からは、教室にも掲示し学生への周知にも努めた。
b	教育理念に明示されている。
c	社会のニーズに対応できるよう努力している。カリキュラムにおいては導入して4年目を迎えた探究型選択コースの内容を見直し等を考えている。 より良い教育を目指すため普段の取り組みに努めていきたい。

評価項目2 学校運営

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
b	事業計画に沿った運営方針が策定されているか。	4
c	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか。	4
d	人事、給与に関する制度は整備されているか。	3
e	教務・財務等の組織は整備されているか。	4
f	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	運営方針は明確でありそれを基に事業計画を策定している。
b	事業計画に沿った運営方針が策定されている。
c	運営組織は職員会議、学校運営委員会、評議員会、理事会で検討され運営組織や意思決定機能は十分効率的であるが、役員の選任において学校への理解を深めてもらう必要があるため今後は人選を重視する必要がある。
d	今年度就業規則を始め各種諸規程の改正を行ったが、不備な点はその都度整備していく。課題だった職員や新規雇用の給与規定などを定め、来年度より実施していく。
e	教育に必要な事業費、人件費、その他の経費は法人の積算方法により作成され、学校運営委員会、理事会で審議されている。
f	求人管理システムの導入など、求人票の管理が効率化されている。常に課題を持ち他の業務についても効率化できるよう模索していきたい。

評価項目3 教育活動・教育環境

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
b	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4
c	関連分野の企業・関係施設等・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか。	3
d	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置付けられているか。	3
e	授業評価の実施・評価体制はあるか。	4
f	教育活動に関する外部関係者からの評価を取入れているか。	3
g	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4
h	資格試験の指導体制、カリキュラムの中で体系的にシステム化されているか。	4
i	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4
j	職員の能力開発のための研修が行われているか。	3
k	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか。	3
l	防災に対する体制は整備しているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	教育課程の編成及び、実施方針を文書化するなど明確化に努めており全教職員の意識統一はなされている。さらに外部からの意見も取り入れている。
b	法定時数に則った教科科目と時間の編成に努めている。必修科目、選択科目については必要性の根拠をはかり適切に編成している。
c	関連業界の方々や卒業生の意見、評価を受けカリキュラム改善に取り組んでいる。業界関係の外部講師の授業を増やすなどして一層の連携を図っていききたい。
d	現場の美容師を通しカリキュラムや教育内容の見直し等の情報交換を適宜行っているが、実践的な授業は少ない。今年度よりサロン実習協力店を募り実習に協力してもらっているが、今後実習回数を増やしたり、授業への導入も考慮したい。
e	授業のためにも、実施・評価体制は必要と考えられる。 学生に実施する「授業内容評価アンケート」の結果のフィードバックに努め、問題点の改善図りたい。
f	学校関係者評価委員会を立ち上げ、意見を聞く等し積極的に取り入れている。今後は就職先の雇用主の意見も取り入れていきたい。
g	学則や成績評価基準に於いて明確に規定している。
h	資格試験に対しては計画的、組織的に取り組んでいる。基準に達しない学生への強化指導に努め、教育水準の向上を目指している。
i	資格試験のある外部研修への参加に取り組み、資質向上に努めている。必要に応じて若い教員の採用に取り組んでいきたい。
j	毎年教職員研修会や、実技研修へ参加し、能力開発に努めている。令和7年度から実施する新しいカリキュラムに備え、より実践的な研修の実施に努めていく。
k	教育上の必要性に対応できるよう整備している。さらなる授業への合理化を図るよう専門の実習室や流し場等の増設も考えたい。
l	消防署の指導を受け避難訓練を実施し、指摘箇所の改善を行った。今後防犯に対する整備や訓練の強化も必要と考える。

評価項目4 学修成果

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	就職率の向上が図られているか。	4
b	資格取得率の向上が図られているか。	4
c	退学率の低減が図られているか。	3
d	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	例年100%の就職率である。サロン説明会の実施前にサロンのPR動画を見せることにより具体的なイメージを持つことができ、サロン選びの参考になった。また、職場見学の実施を徹底している。
b	国家試験では、学科、実技ともに弱点に早く取り掛かり高い合格実績を上げている。今年度は色彩検定などの受験者が多く高い合格率となっている。
c	退学者を出さないように家族との連携を大切にし、取り組みを進めた結果、例年より退学率の低減が図られた。今後とも退学者0を目指して対策を講じていきたい。
d	卒業生については、学生の来校時に情報を収集すると共に、サロンのオーナーからの連絡やガイダンス時に情報を収集している。さらに、就職先のサロンへ郵送にて3年間の離職調査を行う等、活動・評価の把握に努めている。

評価項目5 学生支援

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
b	学生相談に関する体制は整備されているか。	4
c	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4
d	学生の健康管理を担う体制はあるか。	3
e	家族と適切に連携しているか。	4
f	卒業生への支援体制はあるか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	就職説明会等を開催している。学校の指導の下見学や面接日程を決めている。県外サロンのリモートでの説明会実施にも努めた。
b	学校全体で、親身に対応する等、学生相談に応じている。
c	学費の分納制度を導入。遠隔地の学生に対し、住宅賃貸補助制度の実施。日本学生支援機構奨学金や日本政策金融公庫等の教育ローンも紹介している。今年度からは、専門実践教育訓練給付金制度の認定も受け、社会人経験のある学生も学びやすくなったと思う。
d	学校医を選任し、健康診断を実施。保健室も整備しているが、健康面、精神面で問題を抱えている学生が増えているため、ベッドの増台なども検討する。
e	健康面、精神面で問題を抱えている学生が増えており、より家族との連携が必要と考える。これまで通り学年懇談会や、個別面談の機会を設け、今後とも家族との連携に努めていきたい。
f	相談内容によって親身に対応している。再就職等については情報提供や具体的な紹介を行っているが、本人からの報告がない場合は把握が難しい。来校時に情報提供や相談に応じているが、卒業生が相談しやすい環境づくりも必要と考える。

評価項目6 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	学生募集活動は適正に行われているか。	4
b	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	4
c	学生納付金は妥当なものになっているか。	4

2 人とのつながりを大切にする人間性豊かな人材の育成。

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	学生募集活動には積極的に取り組んでいる。学生募集活動は業者開催のガイダンスを調査した上で選別し、広報・募集活動の内容については今後も真実性・明瞭性に留意して取り組んでいる。情報はHPにて随時更新し、最新の情報提供に努めている。
b	正確且つ具体的な情報提供に心掛け、学校案内やホームページ上で公表している。また、校内での様子や、イベント開催の情報もSNSを活用し広く知らせている。
c	学生納付金は経費内容に対応して算定している。他県の同分野校と比較しても妥当と考える。

評価項目7 財務

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	4
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	3
c	会計監査が適正に行われているか。	4
d	財務情報公開の体制整備はできているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	現状は安定している。余剰金については、学生が減少した時も繰り入れ出来るように準備している。今後、施設設備の充実に取り組んでいきたい。
b	予算作成のため、科目ごとに積算書や全体の収支計画書を作成し、半年ごとに執行状況を見極め、必要な場合補正予算を組む等して現状に対応している。
c	毎年監事より監査を受けている。 公認会計士に委託して指導を受けている。
d	ホームページで公開している。

評価項目8 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
b	個人情報に関しその保護のための対策が講じられているか。	4
c	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4
d	自己評価結果を公表しているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	法令・基準の遵守は当然の義務と認識しており、適正な運営に努めている。
b	個人情報については、「個人情報の使用に関する承諾について」署名・捺印をもらい、利用、管理については万全を期している。
c	「自己評価委員会」を設置し、委員会を中心に評価を行っている。引き続き教職員の資質の向上に努めていきたい。
d	ホームページで公開している。

評価項目9 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3
b	学生ボランティア活動を奨励・支援しているか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	学校の施設、設備の貸し出しについても美容組合や各種検定主催者等から依頼があれば可能な限り応じている。また、中学校や高校からの職業体験依頼にも、来校、出張に関わらず応じている。
b	社会との交流は大切と考え、地域貢献、ボランティア活動を奨励している。山形大学の卒業式の際には、美容師の方から学生にメイクお手伝いの依頼があり、学生を派遣した。また、リナワールドのSDG'sイベントにも参加し協力した。今後は、主体的に取り組んでいきたい。